

合宿も東川観光のひとつ

北海道に降る雪は、緯度が高いため低温で湿り気も少なく乾燥しており「パウダースノー」と言われています。スキーやスノーボードを楽しむのには最高で、本州をはじめ海外からも多くのスキーヤーたちが遊びに来ています。海外ではこの上質の雪質を「日本のパウダースノー」という意味で「japow」（ja=japan, pow=powder snowの造語）とも呼んだりしています。とりわけ、大雪山に降る雪は石狩や空知で重たい雪を降らせたあとにやってくるため、さらに上質なパウダーとなって降ってきます。北海道に来る外国人スキーヤーたちは、いま旭岳方面にも多く来るようになってきており、冬の旭岳はまるで海外にいるようです。

旭岳エリアは日本一早い冬とこの上質な雪、そして温泉施設もあり、11月にもなればトッパアスリートたちによるクロスカントリーの合宿地として賑わいます。北海道全体の観光でいえばちょうど雪が根雪になるまでの閑散期でもあり、このような地の利を活かした合宿は滞在型観光のひとつとして、宿泊施設や観光事業者、そして地域にとっても活性化につながっています。暮らしの中での雪は除雪や雪かきなど厄介ですが、「雪」をひとつの観光資源と考えるといろいろな人呼び込むアイデアが生まれてきます。地域にある資源を有効活用し観光に活かす、



大雪の麓くひがしかわ的観光イズム

これを「観光資源化」といいます。

さて、合宿に話を戻すと、スポーツを「する（大会参加や合宿等）」、「観戦しに行く」、「支える（受入体制、地域資源活用）」などスポーツに関するさまざまな旅行を「スポーツツーリズム」とも呼んだりします。クロカン合宿でいえば、練習日以外の周辺観光や飲食宿泊などへの経済効果、滞在中の人々との交流などによる交流人口拡大にもつながっています。東川町では、この豊かな自然、宿泊施設や交流施設、そして地域の飲食店やアクティビティなどを活用し、クロカン合宿だけでなく、サッカーやスキー、自転車など多くの合宿や研修がおこなわれています。物見雄山的な観光だけが観光ではなく、地域にあるものを活かし目的に合わせた合宿や研修旅行の提案や体制整備もまた、町内に人を呼び込むという点では観光でもあり、アグリテックではその提案もおこなっています。東川が持つポテンシャルを最大限に活かして多くの人に東川に来てもらいましょう。（つづく）



アクティビティ提供専門ショップ「HAC」
（有）アグリテック代表 中田 浩康



ウズベキスタンのお正月

東川町国際交流員（CIR）

ナルギーザ（ナノ）・ニグマンノヴァ

今年も残すところ、約1ヶ月です。皆さん、お正月を迎える準備を始めているでしょうか。今回はウズベキスタンのお正月についてご紹介しましょう。

意外かもしれませんが、ウズベキスタンのお正月はとっても賑やかで、その派手さが特徴です。

年末に差し掛かると、食料品が売られている「バザール」と呼ばれる市場は大賑わい。皆お正月に向けて食材をたくさん買い込むわけです。日本ではこんな時さまざまな商品が安売りされることも多いかと思いますが、ウズベキスタンは逆！大勢が買い物をするので、値段が上がる人が多いです。

さて、肝心のお正月のお祝いは12月31日の大晦日から行われます。朝から大人数のご馳走を作り、客間には「ダスタルホン」と呼ばれるお客さん用の食器やお菓子、ナッツなどが並べられます。夜になると親戚や友人、さらにはご近所へ挨拶回りを行い、ご馳走になったり、逆



雪のおじいさん」という意味で、その姿はサンタさんそっくり！街では彼と一緒に写真を撮ることができたり、コルポボ姿で運転するタクシードライバーさんも見かけます。さらにはツリーも飾られたいたり、まるでクリスマスマスのような、お祭りのような、そんな雰囲気です。

そして何ととっても、ウズベキスタンのお正月に欠かせないものは、花火です！全国のライトアップされた広場や公園などであげられるのももちろん、1月1日の0時、つまり新年を迎える瞬間に個人的に打ち上げる家庭もあり、非常に賑やかです。

そんな明るく盛大な新年のお祝いは、明け方まで続きます。国はもちろん、各家庭によってもお正月の過ごし方は千差万別ですが、皆さんお一人おひとりとって素敵なお正月となりますように。